



立ち寄りスポット



**竹中池** 疏水百選「筒羽野の疏水」の源となっている竹中池。湧水量は93,000t/日で、夏はこの豊富な湧水を活用したソーメン流しやプールを楽しむことができます。



**熊野水源** 熊野神社の参道脇に湧き出ている水源で、湧出量は多く周囲は夏場でもひんやりとして涼しいです。



**熊野神社** 1182年に建立された熊野神社。島津義弘公の崇敬篤く、度々参拝寄進があったそうです。

**栗野岳八幡大地獄のパワー**  
栗野岳の山すそには西郷さんが狩りにやってきて定宿していた栗野岳温泉があります。温泉の裏手を登っていくと硫黄のにおいが漂ってきて、岩の間の噴気孔から白い煙が上がり、岩場にたまった水はポコポコと噴き上がり、その景色はまさに地獄。この辺りは八幡大地獄と呼ばれており、大地のパワーを感じることができます。近年では遊歩道も整備され、歩きやすく、インスタ映えするような撮影スポットもいっぱいあります。

**もったいないくらいの絶景**  
複数の火山が重なった山塊であり霧島山の西端部を構成する栗野岳。威風堂々としたふるさとの山は、いつでも美しく、見上げるたびに元気をいただきます。この山とともに、湧水の自然を一望できる場所があるんです。それは「日本一の枕木階段」と言われる、昭和63年に廃線となった旧国鉄山野線の枕木7000本を利用した、山頂へと延びる階段です。階段を上ると展望台があり、そこから眺める景色には心打たれます。夏には新緑の鮮やかさ、秋には紅葉の艶やかさを楽しむことができます。こうした湧水の自然を実際に空の上から眺めてみた人には、魚野フライトエリアからパラグライダーで大空へ舞い上がるということも可能です。インストラクターと一緒に体験することが出来ますので、初心者の方でも安心です。さらに秋口からは湧水の町にひろがる雲海を楽しめる天空のスポットになるんです。この素晴らしい自然に囲まれたふるさとで、私もニワトリとともに毎日走り回っています。

水の素晴らしさは、どんなに語っても語りきれないほどありますが、一番お気に入りの場所は、熊野神社への参道の途中に湧く熊野水源です。神社境内から湧き出ているので神の水ともいわれています。地元の方々は飲料水になさったり、魚の養殖場にも使われています。熊野神社自体も歴史が古く、戦国の猛将・島津義弘公にまつわる逸話ものこっていて、歴史好きな方にもおすすめです。

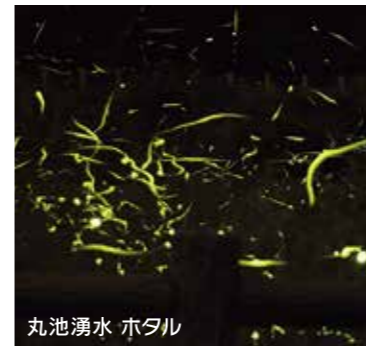
湧水町  
じまんばな誌  
②  
自然いっぱい  
湧水のまち



水が歌い、ホタルが舞い、雲海がひろがる絶景に心がいやされていく。

昔は当たり前だったきれいな湧水

私は高校を卒業後、地元である湧水町を離れ、東京の飲食店に10年間勤めていました。その中で自分のこれまでに培ってきたスキルや経験を地元で活かしたいという思いが強くなり、湧水町の地域おこし協力隊への採用をきっかけに帰郷しました。  
入庁後はSNSを活用した町の魅力発信、イベントの企画・運営等に携わりました。10年ぶりの帰郷で、町自体も変化していましたが、それ以上に自分がずっと見慣れていたありふれた風景からたくさんの発見がありました。水がきれいなことは当たり前なことだと思っていました。水がきれいな湧水、熊野水源、竹中池など湧水町の名の通り、いたるところからきれいな湧き水があふれ出ています。それだけでもスゴイことなのに、きれいな水の流れる所に夏はホタルが飛び交います。  
毎夏開かれている「名水丸池感謝の夕べ」では、竹灯籠を灯すなどして、丸池ならではの情緒を味わうことができます。



語り手 福重 智寛さん



学校を卒業してから東京へ出て飲食店で働く。そこで培ったスキルや経験を地元で活かしたいという思いから湧水町の地域おこし協力隊へ応募。協力隊としての活動を経て、自然放牧場「お多福たまご」の農場長となる。こだわりと愛情たっぷりのお卵が大人気！



詳しい地図へ QRコード